

布施せ布ふ

涼しい目と柔らかな耳

お母さん、観音かんのんさまになって
お子さんを守ってあげてください

仏さまのなかで、大変親しみ深いお方に観音さまがおいでになります。全国各地に観音かんのん霊場れいじょうがあつて多くの方々がお参りになることから、観音さまがどれほど私たちの身近な仏さまであるかがよくわかります。

観音堂にお参りして見上げると、「施無せむ畏い」という額が掲げられています。施無畏の「施」は「ほどこす」、無は「なし」、畏は「おそれ」という意味で、つまり「お

それることなく行きなさい。私が見守っていますから」という観音さまのみ心を表しています。

観音さまは慈愛に満ちた涼しい目を向けてくださいます。観音さまは大きく柔らかな耳をお持ちで、どんなことでも聞いてくださいます。

若いお母さんをお願いしたいのです。どうぞ観音さまになってください。観音さまになって、涼しい目と柔らかな耳でお子さんを守ってあげてください。

お乳を飲ませておいでのお母さんの目を、赤ん坊がじいっと見つめています。このときお母さんの目がテレビやスマートフォンに向いていたなら、赤ん坊はさびしいのです。涼しい目で赤ん坊の目を見

つめてあげてください。

「ママ、ママ」と話しかけているお子さんの言葉に耳を傾けてあげてください。お母さんはこの世でたった一人の、何らおそれることのない大好きな人。「うるさいわねえ」などと言わずに、柔らかな耳を近づけて「そうね、そうね」とうなずいて聞いてあげてください。

お母さんは、そのまま観音さまです。観音堂によく掛かっているもう一つの額は「慈眼じげん視衆生しじゆじやう」です。「慈愛の眼はすべての人の心をやわらげ、大きな慰なぐさめと励はげましになるのですよ」という、観音さまのお声です。

お母さん、涼しい目と柔らかな耳を持つてください。



イラスト：八嶋龍仙 (P4・7・8・15・16・19)